

Active Directory の管理負荷の軽減と監査対応を 実現するソリューションを提供開始

SCSK(本社:東京都江東区、代表取締役社長:中井戸 信英、以下SCSK)は、クラウド化に伴い、ますます複雑化する Active Directory^{※1} の管理負荷を分散管理により軽減し、監査対応も実現するソリューションを 2012年7月より提供開始します。

SCSKは本ソリューション実現のためのソフトウェアとして、システム管理製品のリーディング・プロバイダーであるネットアイキュー株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:公家 尊裕、以下 NetIQ)の「Directory and Resource Administrator(以下 DRA)」を採用します。

本ソリューションを活用することにより、Active Directory の管理負荷を上げることなく、クラウドサービスの利用や、グループ企業間でのシステム統合が可能になります。

※1 Active Directory … マイクロソフト社が提供するディレクトリサービスで、ユーザーID やコンピュータアカウントなどの認証を行います。多くの企業で情報系システムの認証基盤として使用されています。

1. 背景

昨今、企業の IT コスト削減を目的としたクラウドサービスの利用やグループ企業間でのシステム統合が活発に行われています。こういった場合、クラウド環境に合わせるためや、グループ企業共通のインフラを構築するために、Active Directory をマルチドメイン構成からシングルドメイン構成へ統合しつつ、管理は従来どおり事業所や会社ごとに分けたいというニーズが増えています。

このようなニーズに対しSCSKは、自社資産型(オンプレミス)でのシステム管理に限らず、クラウド環境においても使うことができる Active Directory 管理システム「DRA」を採用し、柔軟な管理権限の委任や監査レポート作成などの「DRA」が持つ機能を提供します。これにより企業は、クラウドサービスの利用時においても、内部統制や監査に対応した Active Directory を利用できます。

2. Active Directory 管理システム「DRA」の特長

SCSKはNetIQの「DRA」を使うことにより、Active Directory 標準機能では実現できない「メンテナンスの申請、承認ワークフローと承認後の自動設定変更」「シングルドメイン構成でのセキュアな分散管理」「システム監査に対応した操作ログのレポート機能」を提供します。企業は、「DRA」を使用することにより、ユーザーによるアカウント作成の申請が承認された後、自動でそのアカウントを作成させることや、グループ会社や事業所ごとに管理者を設定し、委任したい操作のみを委任し、分散管理を実現できます。

1) クラウド対応

:メンテナンスの申請、承認ワークフローと承認後の自動設定変更が可能。

2) 安全で効率的な Active Directory の分散管理

: Active Directory のメンテナンス作業を 300 に細分化して、必要な権限のみを各グループ会社、または事業所の IT 管理者に委任可能。(委任させない権限は権限・設定自体を表示させないことも可能)

3) 監査のためのレポート機能

: 人単位、操作単位での証跡をレポート化。

4) 作業の効率化

: ネーミングルールに合致した値のみ入力させることによる情報の一貫性確保。アカウント登録・変更をスクリーンショットで一括対応。オブジェクトの誤った削除を簡易復旧可能。

以上

本件に関するお問い合わせ先

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社 IT マネジメント第一事業本部 基盤インテグレーション第 2 部

担当: 工藤

TEL:03-5166-1925 E-mail:msg@ml.scsk.jp

【報道関係者からのお問い合わせ先】

SCSK株式会社 広報部 担当: 栗岡

TEL:03-5166-1150

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。